

2009-12-7

産産学ビジネスマッチングフェア 2009 with 大阪大学 開催

81社が参加 2000余人が来場、連携のシーズ探る

阪大教官の出張技術相談も

「産産学ビジネスマッチングフェア 2009 with 大阪大学」（北大阪地域活性化協議会、摂津水都信用金庫など主催）が11月26、27日、大阪・吹田市のホテル阪急エキスポパークで開かれました。摂津水都信用金庫の取引先など81の事業所が出展、2199人が訪れ、技術やサービスの連携のタネを探りました。同金庫の支店長らも産産のつなぎ役に協力し、大阪大学の教官は例年通り、要望のあったブースを回って技術相談に応じました。また、今回はテレビなどでも活躍中の「日本一明るい経済新聞」編集長、竹原信夫さんが質問役になって、14社のプレゼンテーションをサポートしました。

にぎわう「産産学ビジネスマッチング
フェア 2009with 大阪大学」



摂津水都信金の支店長らもマッチングを支援

会場には出展企業が開発した売り込みたい製品やサービスのブース、主催者、後援者の展示や相談コーナー、商談の場などが並び、オープンとともに、参加者らが技術やサービスの連携、共同研究・開発などのマッチングを求めてブースを回り、名刺を交わして

質問や説明をしていました。

マッチングフェアの案内冊子には、出店企業の紹介のほか、「各企業の展示の概要」、「他者に提供できる自社の経営資源」、「他社より導入したい経営資源」についての説明が掲載され、訪れた人に理解しやすく配慮されていました。

摂津水都信用金庫の支店長のうち 55 人も、各店舗の取引先企業の要望を事前にヒアリングして、昨年同様、産産（企業同士）のコーディネーターとして、連携できそうな企業探しを手伝いました。

阪大教官らも 15 社のブースを回って出張相談

阪大教官の産学連携コーディネーターも 2 日間にわたって会場を訪れ、相談を希望している 15 社のブースを回って、技術相談などに対応しました。

大阪大学側に、質問のテーマにぴったり合った研究者がいない場合でも、顔の広い同大学研究者の人脈を通して他の教官を紹介したり、公的研究機関を紹介し、相談や開発のパートナー探しをしてもらえることになっています。

企業からの相談は、疲れの出ない座椅子の形状設計、錠剤仕分け設備での錠剤破損防止の技術などさまざまで、今後、ふさわしい教官との研究がスタートします。



経営者らの発表に質問する竹原さん（左）

プレゼンに新しい工夫

二日目の企業プレゼンテーションでは、近畿の元気な中小企業を取材し続けている「日本一明るい経済新聞」の竹原信夫さん（産業情報化新聞社代表取締役兼編集長）が参加、発表した担当者らに質問して、来場者の理解を助めました。

通常、プレゼンテーションでは、説明時間が短いなどで、理解しにくく質問がないまま終わるケースが少なくないことから、数千社の中小企業を取材してきた竹原さんが、仕組みや値段などポイントを突いた質問をし、発表内容をわかりやすくしました。

地域力連携セミナーと

阪大イノベーションフェアも

大阪大学産学連携推進本部と地域力連携拠点（北摂地域）が主催して「大阪大学イノベーションフェア 2009」と「地域力連携セミナー」も同時開催されました。

大阪大学イノベーションフェアでは、共同での研究、開発のほか、技術移転、

地域力連携セミナーの支援策などに聞き入る参加者たち



試作品造りを求めて、13のテーマについて発表がありました。

「地域力連携セミナー」では、地域力連携拠点の応援コーディネーター、中小企業基盤整備機構、大阪府工労働部の担当者らが、「おおさか地域創造ファンド」、「農商工連携」、「新現役の制度と活用事例」など6つのテーマで講演。今回は中小企業の、より積極的な利用を呼びかけるため、事業に応募し、採択・認定された3社も自社の事例を紹介しました。

地域力連携拠点は、中小企業が抱える複雑、多様な課題解決に向け、きめ細かな支援をワンストップ（1ヶ所）で行おうと、経済産業省の指導で、昨年5月、全国316ヶ所に事務局（商工会議所内など）が設けられたもの。地域の支援機関と連携し、「つなぎ力」を活かして、踏み込んだ経営支援を行っています。

フェアでは初日、出展者、阪大、支援機関の関係者らの交流会も開かれました。

これまで10回のマッチングでは3百数十件の技術相談があり、共同研究6件、共同開発5件、大学の研究用装置の試作品作り7件などの成果をあげています。

主催者: 北大阪地域活性化協議会 大阪大学産学連携推進本部、地域力連携拠点（北摂地域）、摂津水都信用金庫、株式会社大阪彩都総合研究所

後援: 近畿経済産業局、大阪府、独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿支部、豊中、吹田、茨木、高槻の各商工会議所

協賛: 日本フルハップ

まとめ (株)大阪彩都総合研究所
橋本 剛